

第98回 薬剤師国家試験問題検討委員会「法規・制度・倫理」部会報告書

日時 平成25年5月18日(土) 13:30～17:00

平成25年6月11日

場所 武庫川女子大学薬学部

出席者	私立大学	54校	58名
	国公立大学	10校	11名
	計	64校	69名

委員長名	中村 武夫
所属大学名	近畿大学

1. 総合評価

第97回の出題に比べ、設問文の日本語表現について検討され、曖昧さが少なくなっている。今回の出題については、一部、細かすぎる感のある出題も含まれているが、全体的により臨床現場で必要な内容を問う適切な出題であったと評価される。必須問題は基礎的知識を問うもので正答率も高いが、本当の意味での必須問題であった。薬学理論問題は選択肢中にやや難易度の高いと思われる表現が含まれているが妥当な出題であった。薬学実践問題は、実際の薬剤師業務に近い内容の出題となっているが、そのことのゆえに法規と実務を区別するのが難しく、いずれの分野での出題も可能となっている。

2. 各項目の評価

1) 「誤りがあると判断された問題」

なし

2) 「問題の観点から不適切である問題」

理論 問150 コミュニケーション技法に関する出題は、実務領域の問題であるとの意見が多かった。出題基準においては、法規・制度・倫理のヒューマンリズム中の対人業務に該当はしている。

実務 問325 医療事故への薬剤師の対応に関する出題は、実務領域の問題であるとの意見が多く、出題基準においては、実務の薬剤師業務中のリスクマネージメントに該当するのではないかとと思われる。

3) 「問題・選択肢の表現が不適切である問題」

理論 問147 選択肢1の「家族の他の者」という表現が曖昧で意味がわかりにくいとの指摘があった。選択肢3の「在宅医療のための麻薬」という表現は、「在宅医療を受けている患者のための麻薬」と明確な表現にするほうがよいのではないかと。

複合 問307 薬剤師Bに誰から問合せがあったのか、また前問では誰から薬剤師Bに連絡が入ったのか不明である。またAさんは入院していると解されるが、選択肢4においては退院していると解されるため、状況把握が難しい表現となっている。

複合 問309 選択肢1について、「直接の容器でなくても直接の被包に正しく表記されているかもしれないので、「直接の容器」だけの表記で不正表示品と判断できない。また患者に推奨した医薬品が不正表示品であるとの条件設定がそもそも矛盾している。

複合 問319 選択肢3の「保険薬局の開設者は、」という表現は、条文に従えば「保険薬局は、」であるべき。

4)「複合性が不適切な問題」

問312 単独問題ともなり、また問313も法規の問題として捉えることができ、実務的な複合問題とは言い難い。

問316 調剤報酬に関する設問は法規でも実務でも出題が可能であり、領域の区別が難しい。実務と法規の複合性としては弱いように感じられる。

問325 医療事故への薬剤師の対応についての複合問題であり、問325（法規）では、発生時における薬剤師の対応であるが、問324（実務）は医療事故予防に関するもので、複合性については弱い。

5)「授業で触れていない問題」

理論 問150 コミュニケーション技法の内容については、教えていないという回答が多かった。法規関連の講義担当者でなくとも、他の科目等で教えている可能性もある。

複合 問322 現場で起こった事例についての内容までの細かいところまでは教えていないとの回答が多かった。

複合 問325 医療現場での内容は、実務関連との認識が強く、また時間に余裕がなく、法規関連の授業では触れていないとの回答が多かった。

その他特記事項

特になし

3. 各問題の評価

別紙1のとおり

以上

別紙1 第98回薬剤師国家試験問題「法規・制度・倫理」部会 評価表

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
必須問題	71	0	64	0	0	63	1	2	60	2	0	64
	72	0	64	0	0	64	0	0	64	0	0	64
	73	0	64	0	0	64	0	0	63	1	1	63
	74	0	64	0	1	63	0	0	63	1	0	64
	75	0	64	0	1	62	1	2	61	1	0	64
	76	0	63	1	3	59	2	1	59	4	6	58
	77	0	64	0	1	58	5	2	61	1	9	55
	78	0	63	1	0	62	2	0	63	1	3	61
	79	0	63	1	0	62	2	1	62	1	2	62
	80	0	62	1	2	56	5	5	50	8	5	58
一般問題 (薬学理論問題)	141	0	63	1	0	62	2	0	63	1	1	63
	142	0	61	3	1	59	4	2	60	2	5	59
	143	0	62	2	0	64	0	4	60	0	3	61
	144	0	64	0	1	62	1	0	63	1	0	64
	145	0	64	0	0	64	0	0	64	0	2	62
	146	0	64	0	0	64	0	2	61	1	0	64
	147	1	63	0	1	63	0	9	55	0	0	64
	148	1	63	0	0	64	0	1	63	0	1	63
	149	0	64	0	0	64	0	0	64	0	2	62
	150	1	60	2	1	53	9	4	55	4	11	52

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
一般問題 (薬学実践問題)	307	0	63	1	2	59	3	5	57	2	1	55	8	6	58
	309	1	62	1	0	62	2	5	55	4	0	56	8	3	61
	310	0	64	0	1	63	0	1	63	0	0	62	2	6	58
	312	0	64	0	0	64	0	0	64	0	1	60	3	1	63
	315	0	62	2	0	60	4	1	62	1	0	62	2	9	55
	316	0	64	0	0	62	2	0	63	1	0	56	8	4	60
	319	1	63	0	0	64	0	1	63	0	1	61	2	3	61
	321	0	60	4	3	58	3	2	58	4	0	61	3	7	57
	322	0	62	2	3	57	4	0	62	2	1	60	3	21	43
	325	0	63	0	1	61	1	0	61	2	1	57	5	11	52

(注)無回答:「わからない(判断できない)」を表す。また、数字は回答大学数である。